

もっと便利に!

スマートストア(無人店舗)

単なる無人店舗ではなく、顧客データを活用してニーズに合った品揃えや価格、サービスの提供を行います。支払いは電子マネーやQRコード、クレジットカードを活用した非接触型とし、スマートフォンを持たない人も利用できるように貸出用スマートフォンの設置やながいコインカードタイプによる決済も予定しています。人手不足が原因で運営が困難な店を省人化・効率化することで地域で継続的に事業を展開できるようになります。将来的には他のコメセンにも展開したり、商品の配送にドローンの活用なども想定しています。

利用方法



〈データを収集・活用してできること〉

- 利用者にマッチしたラインナップ
- 店内レイアウト・陳列棚の改善
- 顧客に合わせたおすすめ商品紹介
- 仕入れの効率化
- 廃棄ロスの削減・ゼロ化

もっと便利に!

デジタル地域通貨 ながいコイン

「ながいコイン」は、長井市内のみで利用できる電子通貨で、スマートフォンまたはカードを使用するキャッシュレス決済です。令和3年2月～3月に市内6施設で実証実験を行いました。今後、本格的な運用を開始していく予定です。

プレミアム商品券としての活用や健康ポイント、ボランティアポイントとしての活用、マイナンバーカードの電子署名機能などとの連携も検討していきます。



ながいコイン決済画面

もっと便利に!

デジタル技術を活用した公共交通の最適化

路線バスの利用者情報をデジタル化し、利用状況や属性情報を「見える化」することで効率的な路線検討に生かします。また、デマンドバスの実証実験を併せて行い、将来的にはMaaS※4を含め、公共交通のさらなる利便性向上を図っていきます。

RFID※5を付けた定期券による路線バス利用者のデータ収集

エリアを限定したデマンドバスの実証実験

運行中のバスの位置がわかるロケーション機能を整備(令和4年度以降)

路線バスとデマンドバスを組み合わせた公共交通の最適化を目指す

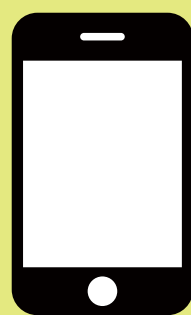
3/30(水)オープン



伊佐沢コメセン敷地内

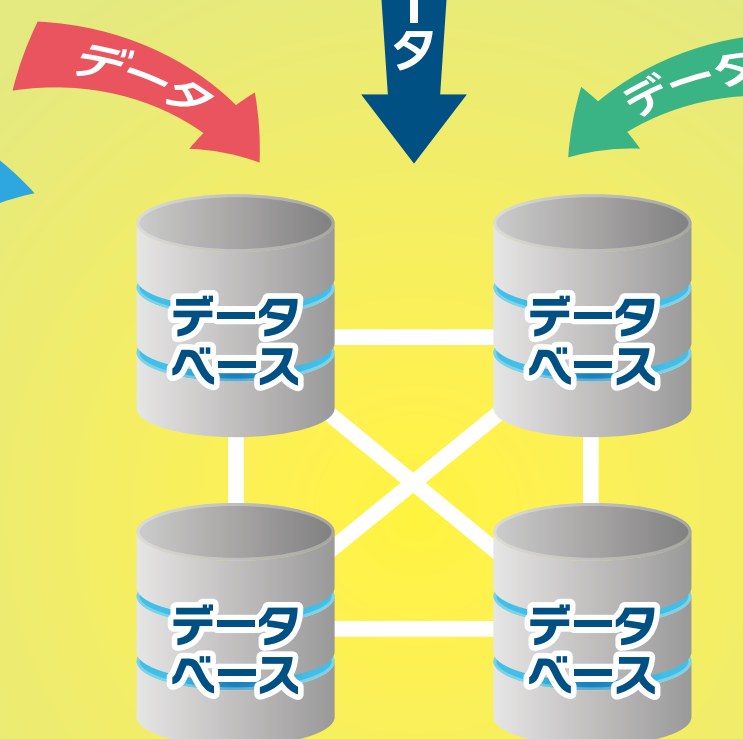
市役所庁舎売店

スマートシティ アプリ



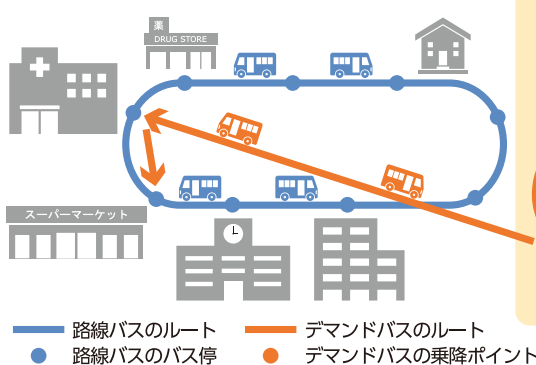
バスの予約やスマートストアの決済、ながいコインの利用、見守り情報の取得など、様々な機能を一元化

データ



データの活用

分野を超えたデータ連携で 今までにないサービスや 価値を創出



デマンドバスとは…

決まったルートを通る路線バスとは異なり、デマンドバスは乗りたい時間に乗りたい場所・降りたい場所を指定して利用することができます。長井市では、他の乗客と乗り合いで運行するデマンドバスの実証実験を予定しています。

もっと安心に!

子どもの見守り

長井市内の全小学生(約1,200人)を対象としてデジタル技術を活用した子どもの見守りを行います。子どもに持たせる小型端末の位置情報をスマートフォンで確認できたり、AIが行動パターンを学習し、普段の行動範囲を離れたときなどに保護者に自動で通知が入ります。

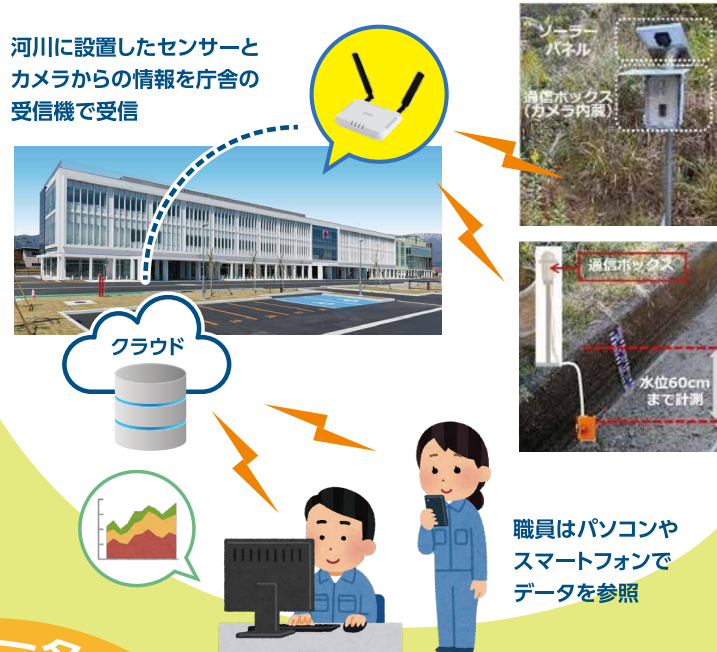


もっと安心に!

LPWA※7の活用

河川の水位監視

大雨の際に溢れやすいまちなかの小河川など20カ所に水位を監視するセンサーやカメラを設置し、水位情報を定期的にデータベースに集約します。水位情報は市の災害対策に活用します。

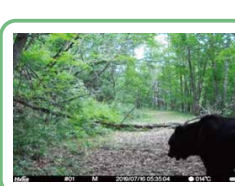


職員はパソコンやスマートフォンでデータを参照

もっと安心に!

有害鳥獣対策

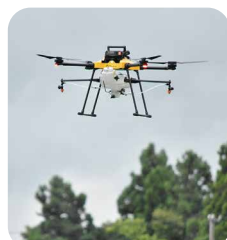
有害鳥獣の出没が心配される13カ所にモーションセンサーカメラを設置し、AIがカメラに映った動物が有害鳥獣かを判断してデータを送信します。対策の迅速化と、追跡や追い払いなどへのドローン活用も検討しながら対策強化を図っていきます。



持続可能な社会に!

ドローンの活用

農業や物流など、日常生活の様々なシーンでドローンの活用を進めていきます。それに伴いドローン技術者の確保や育成が必要となるため、ドローンスクールとも連携して技術者の育成を図っていきます。



デモフライトを実施し実装に向けて進めています。

- 農薬散布における活用
- 橋梁や鉄塔の点検
- 鳥獣被害の抑止
- 物流への活用

持続可能な社会に!

ワーケーション※8

市役所とタスにテレワークブースを設置し、観光局のツアーとも連携しながら市を訪れる人にテレワークできる環境を提供します。ワーケーションをきっかけとして、DX人材の誘致にもつながると考えられます。



持続可能な社会に!

高齢者向け

デジタル機器操作教室 eスポーツ※9の実施



高齢者やITが苦手な人も活用できるよう、デジタル機器操作教室を行っています。



eスポーツは認知症予防などの有効性も検証されています。福祉事業者やミニニイサービスと連携して、高齢者向けのeスポーツを実施していく予定です。

シンプルなルールで手軽にできるもの、子どもたちと会話ができるようなゲームもあります

サポートセンターの設置

☎0120-666-199

(受付時間 平日8:00～18:00)

アプリの使い方がわからないなどの問い合わせを一括で対応するサポートセンターを設置します。



用語解説

※4 MaaS

Mobility as a Serviceの略。ICTを活用して、自家用車以外の交通手段の中から移動ルートを最適化、支払いまで一括で行えるサービス。

※5 RFID

Radio Frequency Identifierの略。無線通信と個体識別情報(ID)を埋め込んだタグを用いて情報をやりとりする技術。

※6 SIM

Subscriber Identity Moduleの略。携帯電話などで使われる利用者情報を記録した小型カード。電話回線を利用して通話やインターネットなどの機能が使用できる。

※7 LPWA

Low Power Wide Areaの略。低消費電力で長距離通信ができる無線通信技術の総称。太陽光やモバパルバッテリーでも通信が可能。

※8 ワーケーション

ワーク(労働)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語。観光地などでテレワークを活用して、働きながら休暇を取る過ごし方。

※9 eスポーツ

Electronic Sportsの略。ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。サッカーや格闘、パズル、レーシングなど様々なジャンルがある。